

平成 27 年度 研究計画書

Research Plan FY2015

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア II 講座 准教授
氏名 Name	村上 忠良
専門分野 Academic Field	文化人類学・タイ地域研究

平成 27 年度 研究計画 Research Plan FY2015

主たる研究テーマ Principal Research Subject	シャン仏教における声と文字—東南アジア大陸部の少数派仏教徒からの展望				
<p>文字（経典）を有する世界宗教の伝播の過程は広く宗教学、歴史学、人類学の研究者の関心を惹いてきた。しかし、従来の伝播論的問題設定は「文字をもたらした側」からの視点であり、受容者側の主体性を十分くみ取ってきたものとは言い難い。また世界宗教のもたらす文字文化が土着の豊かな声の文化を完全に変容させたという見方も単純化の誹りを逃れえない。</p> <p>本研究で取り上げる東南アジア大陸部のシャン仏教徒については、声から文字へ、紙から電子メディアへ、秘匿から公共へ、あるいは呪術から合理的精神へといった従来の一方通行の宗教的媒体の発展モデルが当てはまらず、歌や語り、写本、近代、電子メディアなど多様な「メディアの同時共存状態」と、これらのメディアを使う「声と文字に関する身体行為の同時共存状態」があり、「声」と「文字」の輻輳的な関係がみられる。シャンにおける「声」と「文字」の宗教実践の関わりとその社会的影響を検討することにより、東南アジアの上座仏教徒の宗教実践に関する一つのモデルの提示と、それを基盤とした東南アジア地域内、あるいは隣接する地域（南アジア・東アジア）の宗教伝統との比較研究も視野に入れて研究を行う。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	文化人類学・ 民俗学	宗教学	中国哲学・インド 哲学・仏教学	東南アジア 地域研究	
キーワード Keywords	宗教実践	シャン	経典・聖典	声と文字	